

夏休み親子わくわく JAXA 相模原キャンパス見学会

開催日：2025年8月4日(月) 横浜市交流委員会

(事務局記載) 2025年の親子夏休みわくわく見学会は、JAXA(宇宙航空研究開発機構)の相模原キャンパスへ総勢65名でうかがいました。キャンパス内でロケットや探査衛星、天体上での探査車などの各種展示品や、管制室・惑星表面を模した実験場などを見学しました。

以下、見学者(子どもたち)の感想を掲載します。

・宇宙の雄大さを改めて感じるとともに、その未知の世界、途方もない距離への到達に向けたチャレンジの大変さを楽しく学ぶことが出来ました。はやぶさを小惑星リュウグウにタッチダウンさせて砂を採取するシミュレーターは、もちろん本当の大変さとは比べ物にならないのですが、「はやぶさは、こうやって地球に持って帰ってきたんだ」ということを分かりやすく体験できて面白かったです。(楓音)

・日頃の見学では立ち入れない施設も見せてもらうことができてとても面白かったです。特に、月面を再現した施設は、暗闇の中か



らライトアップされた瞬間、私も周りの人も思わず声をあげてしまう凄さでした。これから、夜空を見たり月を見上げたりした時には、楽しかった施設の見学体験も思い出されると思います。(羽那)

・ロケットや気球が大きくて驚きました。月面の車両実験はガラスを砂みたいにして車の実験をしているのに驚きました。太陽系の星をぐるぐる回して遊べる施設では、自分がいる地球と近くの星がよく分かり楽しかったです。「惑星を真っ直ぐ1列にしてみよう」と言われて何回も回してみたけど揃わなかったので、また行ったらチャレンジしたいです。(幸希)

株式会社アイルミッション 参加ご家族
川人(楓音、羽那、幸希)



新入社員向け技術見学会【富士通テクノロジーホール】

開催日：2025年6月18日(水) 教育研修委員会

今回、富士通テクノロジーホールを見学させていただきました。富士通の歴史から現代の技術まで様々なテクノロジーの進化を実感しました。特に関心を持った内容は、現在のAIの進化と実用化です。

行動検知技術というものをを用いて、歩きスマホをしている人を検知し、警告してくれたり、倒れている状態やかがんでいる状態を検知し、いち早く人間の異常状態を知らせてくれたりと私たちの安全な暮らしを守るためのAIを知りました。

ほかにも今の技術の原点となるリレー式電卓やワープロ、コンピュータの展示があり、今とは違うコンピュータのキーボード配列や、ブラウン管のモニターなど、わくわくするものばかりでした。過去と今の違いを知ることで、技術の進化を実感することができました。

これからの仕事をする上で見学会で学んだことを生かし、新し

い技術力を持ち、会社に貢献できるような人材を目指したいです。

セントラル電子制御株式会社 柴田 和太郎



第 77 回神情協ビジネスフォーラム

開催日：2025年7月17日(木) 企業経営委員会

第 77 回神情協ビジネスフォーラムでは、板橋会長が「これからは AI を使う側に回らなければ生き残れない」と力強く開会を宣言し、参加者の意識を一気に引き締めました。登壇した 7 社はいずれも、企業の未来を切り拓く先進的なソリューションを披露してくれました。

鈴与シンワート株式会社は、AI 顔認証とサーベイを通じて従業員の心理状態を可視化し、離職防止とモチベーション向上を実現する「ココレポ」を紹介。株式会社アドテックは、IC タグを活用した「IC タグキャビネット」や「スマートキャビネット」による物品管理の省力化とセキュリティ強化を提案。株式会社 LSFP は、年金や資産運用をシミュレーターで学べる金融教育の重要性を訴え、社員の将来不安軽減が企業競争力につながると強調しました。ドローン・アイティ株式会社は、環境経営の第一歩として、中小企業でも導入しやすい「エコアクション 21」を紹介。

株式会社社情創は、動画で学べる教育基盤「Platform-eX」による人材育成の効率化を提案。株式会社ユーリカ・ワイアレスは、PHS の後継技術「SXGP」による安全・安価なモバイル環境を提示。株式会社ドゥーイノベーションは、RFID タグを利用し来訪者の言



語に応じて表示を自動切替する「おもてなし案内」を披露。参加者は真剣に耳を傾けていました。

また今回は、愛知県から一般社団法人愛知県情報サービス産業協会関係者もゲスト参加いただき、「団体間同士の協力」を約束し、盛んな名刺交換と交流で熱気に包まれました。

株式会社日本エイジェンシー 鈴木 貴司

ものづくり×ICT 連携フォーラム in かわさき

開催日：2025年9月11日(木) 川崎市交流委員会



神情協と川崎市工業団体連合会、公益財団法人川崎市産業振興財団、川崎市の合同主催している本フォーラムも 10 回目となりました。今回は現地開催で 89 社 145 名（神情協 25 社、フォーラム 40 名、交流会 32 名）で昨年に引き続き多くの皆様にご参加いただきました。

テーマは、「デジタルが切り拓く、ものづくりの新境地～つながる技術、ひろがるチャンス」で、神情協会員企業である株式会社メタテクノ、コアフューテック株式会社の発表を含め、計 6 社のプレゼンテーションがあり、会場ではシーズ発表企業とシーズに興味を持つ希望者とのマッチング会も並行して実施されました。



本フォーラムでは、市内企業の生産性向上や DX 推進を支援するため、その実現に必要な ICT・DX 等の先端的なツール・ソリューションを有する企業のシーズの発表やマッチングの機会を創出し、企業が単独で活動する以上の効果や付加価値の向上を図ることも目指しています。このイベントを通し、川崎だけにとどまらず神奈川県全体の魅力を高め、多くの人を引きつけることで、持続可能な発展につながっていくと思います。

株式会社アクロイト 田村 孝章

2025年度「SE講座」協会内講師間情報交換会

開催日：2025年9月2日(火) SE講座特別委員会

事務局会議室およびWebのハイブリッド方式で、会場30名・Web9名、合計39名の講師が参加し、情報交換会を開催しました。開会挨拶では、板橋会長から「SE講座では、教えるよりも伝えることが大切である」との力強いメッセージを頂戴しました。続いて、富樫委員長から新体制の紹介があり、情報交換会がスタートしました。

まず、2025年度に新規認定された9名のフレッシュな講師による自己紹介が行われ、その後、2025年度SE講座後期の日程、講師のアサイン、周知事項等について、事務局より発表がありました。さらに、2024年度後期および2025年度前期の実施総括として、8大学・1専門学校に登壇された25名の講師から感想や共有事項が発表されました。各講師がそれぞれの強みを活かし、創意



工夫を凝らした講義を行っていることを伺うことができました。終盤には、勝山産学連携委員長より産学連携委員会の取り組みについて説明がありました。

閉会挨拶では、富樫委員長から新体制でスタートするSE講座特別委員会への熱い思いと、「笑いの取り方の極意」についてお話しがあり、盛況のうちに閉会となりました。

最後に、予定通り1時間30分きっかりで終了したことを受け、事務局色川さんの的確な段取り力と、草川副委員長の軽快なトークと司会進行に、改めて感嘆いたしました。

株式会社エルテックス 飯高一光



2025年度情報系専門学校との情報交換会

開催日：2025年9月5日(金) 産学連携委員会

2025年度情報系専門学校・短期大学校就職ご担当者様と神情協との情報交換会が、ホテルプラム横浜で開催されました。台風の影響で雨風が強い中、専門学校・短期大学校14校20名、神情協会員約90名の方々にお集まりいただきました。

冒頭、板橋会長から、学校・企業双方にとって有意義な情報交換の場となるよう開会のご挨拶がありました。続いて、草川産学連携副委員長から産学連携委員会の体制変更や協会の取り組み、および10月より公開予定の産学連携特設サイトを含めての紹介がありました。

第1部は五十嵐副委員長の進行のもと、10名程度ずつテーブルに分かれて討議を実施しました。ファシリテータが議論をまとめな



がら、「企業への課題・期待」「留学生採用」「学生のコミュニケーション能力」「就活意欲を向上させる取り組み」「選考面接で重視するポイント」などをテーマに活発な意見交換が行われました。最後に富樫副会長のご挨拶をもって第1部を終了。続く第2部では、立食形式で懇親会および名刺交換会を行いました。

この情報交換会は、30回以上にわたり開催され、学校と協会との信頼関係によって支えられてきました。2030年には79万人のIT人材不足が予測される中、今後さらなる産学連携が期待される場となりました。

ジスクソフト株式会社 富澤 慶二郎



第10回 CTF 競技会

開催日：2025年6月17日(火) 技術委員会

CTF (Capture The Flag: コンピュータセキュリティに関する様々な問題を解くことで技量や知識を競うイベント) 競技会 2025 年度第1回目(通算10回目)が開催されました。今回も Zoom によるオンラインでの開催となり、1チーム3名編成でエントリーをいただき、31チーム92名(1チームだけ2名編成) 他見学者15名と100名を超える盛況な競技会となりました。競技ではチームごとにブレイクアウトルームに分かれ、学びを深めながら勝敗を競うイベントとなりました。

初心者向けのベーシックな問題を中心に、IPA「情報セキュリティ10大脅威」を踏まえた実践的な設問も盛り込まれており、初参加のチームも楽しみながら最新のセキュリティ動向を体験できる構成となっていました。また、過去の競技会から継続参加している常連チームの上位入賞を目指した真剣な取り組みも見られ、全体的にも大変盛り上がりを見せました。

競技会の結果は1位 株式会社NTTデータIMジェイエスピー：MIS、2位 株式会社エルテックス：フルーツピッカー、3位 パシフィックシステム株式会社：PSC となりました。競技終了後、参加者全員に非常に有効で丁寧な解説と上位3チームの表彰式を行いました。今期は10月14日(火)に第2回 CTF を予定しています。今回よりは少し難易度が高くなる予定ですが、多くの方の参加をお待ちしています。

なお、当日の様様を Youtube 限定で公開しております。競技方法や解法等も収録しましたので、ぜひご覧ください。

ジスクソフト株式会社 飯村 誠



↑
上記
QRコードより
視聴可能です。



2025年 家族地引網大会 開催報告

開催日：2025年9月23日(火) 労働福利委員会

この度は、「2025年 家族地引網大会」にご参加いただき、誠にありがとうございました。去年に引き続き秋の開催となりましたが、当日は暑さが和らぎはじめ、心地よい風が吹く絶好の地引網日和となりました。サーファーが集う江の島海岸を会場に、海の向こうにはうっすらと富士山が顔をのぞかせる中、500名を超える参加者の皆様に会場は大賑わい。

ドリンクコーナーでは、2種類の生ビールをはじめ、ソーやソフトドリンクも終始盛況でした。皆様それぞれドリンクを片手に、

ご家族や仲間とのBBQを楽しまれていました。

メインイベントの地引網では、大人も子どもも力を合わせて網を引きました。アジを中心に、サバやカマス、コウイカも獲れ、なんと2,000匹もの大漁。あらかじめ用意した魚を入れる樽だけでは足りず追加したほどでした。また、くじ引きなど、お子さま向けのイベントも大人気。子どもたちの楽しそうな声が、会場のあちこちから聞こえてきました。お待ちかねの獲物の分配では、今回は分け前も多く、なかには一人で二袋持って帰る方もいらっしゃいました。



ダイバーシティ委員会日帰り研修会

開催日：2025年9月9日(火) ダイバーシティ委員会

2年ぶりに日帰り研修会を開催しました。今回は、事務局から徒歩5分ほどの沢渡中央公園の中にある横浜市民防災センターを訪問し、「地震・火災体験ツアー」に参加しました。

ツアーの最初は、災害シアターにおいて横浜で起こりうる災害を映像により体験し、防災のための心構えの大切さを感じました。

次に、地震シミュレーターを体験しました。最大震度7の揺れのほか、前方と左右のモニターに地震の映像が映し出され、とてもリアルな体験となりました。その他、消火器訓練や火災シミュレータ



ーで煙の中を歩いたり、減災トレーニングルームで災害の疑似体験をしたりと、盛りだくさんの内容でした。

今回のツアーに参加することで、改めて「防災」について考える良い機会になりました。年に一度はこのような体験ツアーに参加し、「防災」について考えてみるのも良いかもしれません。

神情協事務局

更に、希少なコウイカは、戸高労働福利委員長との「イカじゃんけん」で見事勝利された方の手に渡りました。

参加者全員の笑顔と熱気が溢れ、大成功のうちに大会を終えることができました。本イベントにご協力いただきました関係者の皆様にも、心より感謝申し上げます。

次回も皆様にお会いできることを楽しみにしております。

株式会社からくり 品川 秀司

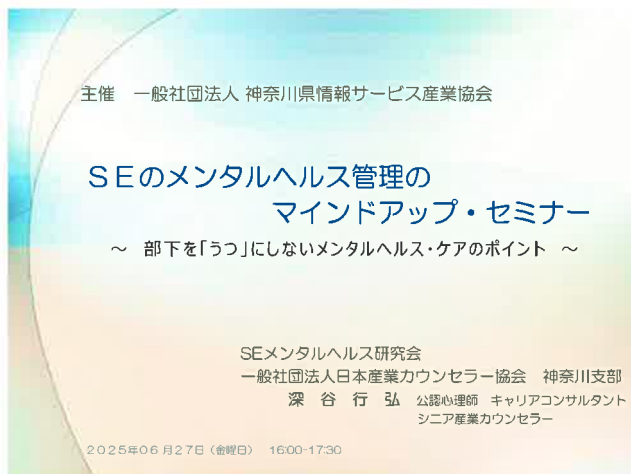


『SEのメンタルヘルス管理のためのマインドアップ』セミナー

開催日：2025年6月27日(金) 労働福利委員会

SEメンタルヘルス研究会の深谷さんに講演していただきました。メンタルヘルス不調になる人がとても多い業界、というのは認識しておりましたが、改めて実感いたしました。職場環境や仕事の過剰負荷を改善するのは当然ではありますが、エンジニア自身もメンタルヘルス不調にならないための対策が必要である、と学びました。また、紹介いただいた『認知行動療法』は実践していきたいと思いました。深層心理や過去の出来事よりも「今」を大切に、「感情」、「行動」、「認知」を変えることは実践できると思います。部下の「うつ」に陥りやすい考え方を変えて、マインドアップにつなげる方法も大変勉強になりました。すべてのエンジニアに共通することだと思いますので、こちらも実践し、「うつ」に陥らないようにしていきたいです。

業界全体が抱えている課題ですので、課題克服するために、具体的な対策を教えてください、大変有意義なセミナーとなりました。



株式会社アプリコット 曾根 和茂

ダイバーシティ委員会オープンセミナー

開催日：2025年7月8日(火) ダイバーシティ委員会



産業カウンセラー1級・キャリアコンサルティング技能士の岩井昌江さんをお招きし、「違いを尊重できるコミュニケーション～交流分析を応用して～」と題したご講演で、オンライン参加者を含め25名が参加しました。

講演では、まず「自己成長エゴグラム」という診断を実施。交流分析に基づき、人の心には「親(P)」「成人(A)」「子ども(C)」という3つの自我状態があり、これらの割合によって個人のパーソナリティが形成されるというお話でした。この診断は、決して良し

悪しを判断するものではないと強調されていたのが印象的です。

現代社会では、視覚情報(見た目)が6割、聴覚情報(話し方)が4割を占めると言われるほど、非言語コミュニケーションの重要性が増えています。その中で、対人関係においては、価値観の違いからストレスを抱えがちです。しかし、岩井先生はこのように仰いました。

「他人と過去は変えられないが、今ここでの自分とこれからの未来は変えられる」エゴグラムの分析結果についても、「高い・低い」という優劣ではなく、高い部分は自信として活かし、低い部分はできる所から変えていけばよいと、アドバイスをいただきました。今回のセミナーは自分自身を見つめ直し、前向きな気持ちになれる有意義な時間でした。

株式会社ティー・エム・シー 越賀 優

パワーポイントの資料の作り方やプレゼン資料の作り方セミナー

開催日：2025年8月21日(木) 広報委員会

株式会社グローバル MA 事業開発チームリーダーの村上大典さんを講師に迎え、プレゼン資料作成の基本と実践的な工夫を紹介するセミナーが開催されました。村上さんはMAとAI開発を主軸とする同社でチームリーダーを務め、共著に「マーケティングオートメーション スペシャリストになるための教科書」があります。

今回のセミナーは参加者が大変多く、プレゼン資料作成に関心を持つ方々の熱意がうかがえました。セミナーでは、資料作成における「読むプレゼン」と「見るプレゼン」の違いを明確にし、それぞれに応じた構成や表現のポイントをわかりやすく解説してくださいました。受け手が理解しやすい順序で情報を伝える工夫や、重要な情報を先に示す伝え方、スライドの見やすさやデザインの工夫も具体的に紹介されました。さらに、パソコンを活用した効率的な資料

作成のテクニックやスライドの整理方法も取り上げられ、実務にすぐ役立つ内容となりました。

参加者からは「自己流で行ってきた方法が体系化され、理解が深まった」との声が上がり、これまで曖昧に行っていた作業の改善点が明確になったとの意見もありました。幅広い企業や職種の参加者にとって、有意義で学びの多いセミナーとなりました。

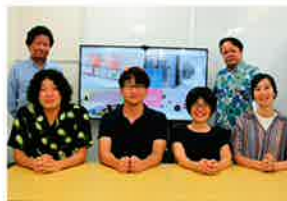
DELE 株式会社 福地 真由香



株式会社ディーインクリエイティブ

ITが普及した現代、今では知らないうちに様々なシーンで、インターネットを利用しているという時代になり、その裏支えができないものかと思い創業した山城社長。技術者出身で、大規模システム・C/Sシステム・インターネット事業の提案・開発・運用に幅広く携わってきたという。また、その経験の中で今後、様々なシーンでITが普及し、ITを影でサポートする会社が必要になってくると常に考えて、この思いが会社を立ち上げるきっかけとなった、と振り返る。

同社は、IT業界の中でもWebサイト（スマートフォンサイトも含めた）全般の技術に特化した受託開発型企業。Webサイトの企画 / 立案からデザイン / 開発 / 運用 / 保守といったソフトウェア全般、ネットワーク構築 / 運用 / 保守、サーバー構築



設立：2005年2月2日
 資本金：800万円
 売上高：2億7,000万円
 社員数：13名
 住所：東京都品川区南品川2-4-5
 NAビル5F
 TEL：03-5783-0774
 URL：https://www.d-in.jp/

/運用 / 保守といった「Web技術」に関して、幅広く柔軟にスピーディーに対応できる企業でもある。「これから先も、Web系の開発業務をワンストップで全てお任せいただいても、一部をご依頼いただく場合でも、最善・最良のものをお届けし、お客様に心から喜んでいただける企業として邁進してまいります」と話す。

同社は、神情協のアプリコンテストでも2回賞を受賞している。最近では仕事もコンスタントにこなし、安定化してきている会社。社員目線の社長の姿勢に目が離せない。

日本テクノストラクチャ株式会社

日本テクノストラクチャ株式会社 (TESCO) は、1975年の創業以来、変化し続けるIT技術を謙虚に学び、ソフトウェア開発・サービス・システムエンジニアリングを軸に、社会インフラを支える安心と信頼のソリューションを提供してきた技術者集団です。

事業領域は多岐にわたり、セキュリティ（映像監視・防犯など）、ヘルスケア（医療機器・医療ITサービス）、キャッシュレス（マルチ決済端末・チャージ機・KIOSK 端末など）、物流・SCM（倉庫運用・配送管理・店舗商品管理など）、公共インフラ（防災・ETC・水管理など）、IoT（住宅 / 非住宅 IoT、エッジコンピューティングなど）、車載（自動運転・デジタルメーターなど）、デジタルマニュファクチャリング（生産管理・ERP など）を得意とし、要件定義から設計・開発、評価・検証、保守運用、



設立：1975年8月22日
 資本金：1億円
 売上高：37億2,000万円
 社員数：279名
 住所：（新横浜）神奈川県横浜市港北区
 新横浜2丁目7番17号
 KAKIYAビル3F、8F、B1F
 （本社）東京都府中市府中町
 1丁目10番3号府中南ビル2F
 TEL：（新横浜）045-474-6721
 （本社）042-366-5951
 URL：https://www.nihon-tesco.co.jp/

PMO 支援までワンストップで対応しています。

品質の良い開発にも力を入れて取り組んでおり、「TESCO 開発標準」と「プロジェクトマネジメントファイル(PMF)」を適用し、安定したQCDと高い信頼性を実現しています。創立50周年を迎えた節目に、品質重視・納期厳守の姿勢を貫き、「人を幸せにするシステム」を次の50年も創り続けます。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

株式会社エフケイ・ジャパン

株式会社エフケイ・ジャパンは、システム受託業務を主力に、アプリ開発や人材サービス、中国ビジネスコンサルティングの分野にも取り組み、多様なニーズに答えている。同社は「強くて、優しくて、楽しい会社」を目指しており、その姿勢は日々の事業運営や社員教育にも表れている。

同社の社員は20～30代が6割を占める一方で、長年勤めるベテラン社員も多く、世代を超えた協力体制が活力を生んでいるという。新卒を中心とした採用活動にも力を入れており、若手エンジニアが最終面接に参加できる仕組みなどを設け、結果として入社後の離職率は低く、安定した組織運営につながっている。社員同士の交流を深めるためのリラックスルームからも、アットホームな雰囲気が感じられる。



設立：1999年9月
 資本金：4000万円
 売上高：非公開
 社員数：約50名
 住所：神奈川県横浜市神奈川区神奈川
 2-18-16 京浜興産コヤマビル4F
 TEL：045-444-6444
 URL：https://www.fk-j.co.jp/

一方、海外でも活動は活発で、中国企業とのビジネスのつながりは1990年代から。華東師範大学をはじめとした中国の大学や、国有企業との合弁会社運営を通して得た人脈と経験を持つ責任者を中心にビジネスを進めている。また、カンボジアでの社会貢献活動を通じて、国際的な経験を事業に還元している。

今後の展望について、同社はAIコンサルティング部門を強化するとともに、ITによる地域創生や雇用創出にも貢献する事業展開を目指している。確かな技術力と国際的な経験を武器に、社会的価値を生み出す企業として、挑戦を続ける構えだ。

イベントも販促もワンストップで対応可能。 御社のプロモーションに活用してみませんか？



「デザイン × キャスティング」で、 新しい価値の創出をお手伝いいたします。

トキア企画は、創業53年にわたり培ってきたDTP・グラフィックデザインの実績を基に、プロゴルファーや文化人のキャスティング、展示会ブースデザイン、周年行事などのイベント企画・運営まで、幅広くワンストップで対応しています。

また、ドナルド・マクドナルド・ハウス財団 (DMHC) の支援活動にも取り組み、社会貢献にも力を注いでいます。

例えば、ゴルフコンペ企画、有名人・著名人を招いた講演会、周年行事や社内パーティーへのマジシャン派遣、ノベルティグッズ制作、商品パンフレット制作など御社のプロモーションを魅力的に彩る、多彩なアイデアをご提案いたします。

お問い合わせ

TOKIA
www.tokia.co.jp

〒102-0083 東京都千代田区麹町4-3
麹町四丁目ビル3階

TEL : 03-3264-7160

E-mail : mg@tokia.co.jp



新会員 Information

■正会員

株式会社テイクス

横浜市西区みなとみらい

代表 常世 佳右

https://www.takes.ne.jp/

TEL 045-228-2270

業務 システム開発：業務系システム開発 組込・制御系システム開発 WEB系システム開発、インフラ構築・運用保守：ネットワーク/サーバ設計・構築 システム運用・テクニカルサポート

■正会員

田辺 IT産業株式会社

横浜市青葉区桂台

代表 田辺 光太郎

https://www.tii.co.jp/company/

TEL 045-532-4113

業務 Microsoft ソリューションサービス導入支援事業、Microsoft 365 運用サポートサービス、Microsoft Copilot 導入支援事業、IT コンサルティング事業、人材派遣事業

■正会員

株式会社 Luster Augmentation

東京都中央区八重洲

代表 山本 輝昭

https://luster-augmentation.com/

TEL 090-9684-3537

業務 クラウド導入コンサルティング、AI・BI 導入コンサルティング、システム開発、システム運用保守、IT 人材育成等

■賛助会員

ITプロダクツ株式会社

川崎市川崎区日進町

代表 河野 利之

https://www.it-pro.co.jp/

TEL 044-578-2081

業務 IT関連機器の販売

広報委員会コラム

酷暑といっても過言ではない、そのような日々も落ち着いてきました。朝晩は涼しく外に出たとき汗ばむこともなくなり、身体を動かしたいなと思いの方も多いのではないのでしょうか。

かれこれ20年近く山登りを続けており、年によっては多かっったり少なかったりしますが、特に春と秋は山登りの楽しみが多いともいえます。秋で思い浮かぶものは紅葉ではないでしょうか。山の頂から眼下に広がる紅葉を楽しむ。場所によっては、赤い色だけではなく、黄色、緑と自然が作り出すコントラストには圧倒されるばかりです。これは個人的な感想ですが、山頂まで登り息も切れたところで紅葉を見ながら深呼吸すると、まるで栄養分を取り込むように疲労がとれていき、頭もすっきりとしていきます。

登山経験のある方はお解りかと思いますが、上りより下りのほうが足への筋肉負荷が高いため、無事に下るよう体力が回復していると思うことも大事なのです。もちろん紅葉を楽しむなら頂上まで登らなくとも紅葉狩りという言葉もあるぐらい、秋に色づいた落葉樹の葉でも楽しめますね。

なお、「狩り」という言葉はもともと獣を捕まえることを指していましたが、貴族たちが自然の美しさを求めて山に出かけることを「狩り」と表現したことに由来しているそうです。年々、秋が短くなってきていると思うこのごろ、自然の美しさを楽しむためにお出かけしてみることをお勧めします。

株式会社メトロ 長谷川博隆